

# フードテックを活用した食関連産業の成長産業化への支援について

【担当省庁】内閣官房、内閣府、農林水産省

京都府では、食関連産業の成長産業化を図るため、京都の食文化やブランド力と最先端技術を融合した京都ならではのフードテックに取り組む「京都フードテック基本構想」を本年3月に策定したところであり、この構想を実現するため、以下の措置を講じていただきたい。

- 産学公連携によるフードテックの研究開発や技術集積のネットワーク構築を図る「京都フードテック研究連絡会議」や、異業種連携による付加価値の高い新商品の開発等を促進する「京都食ビジネスプラットフォーム」の取組などに活用可能な地域食品産業連携プロジェクト(LFP)推進事業等の拡充と十分な予算確保
- 京野菜を使った機能性食品の開発など新たなブランド価値を創出し、食関連産業の更なる振興をめざす拠点「京都プレミアム中食オープンイノベーションラボ」の整備について、デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）で採択
- スマート技術等のフードテックの現場実装を推進するため、来年の通常国会に提出予定のスマート農業関連法案に、地域の実情に合わせた技術の開発・実証を担う都道府県の試験研究機関への技術的・人的等の支援を規定いただくとともに、都道府県が主体となる研究プロジェクトを積極的に支援する新たな仕組みを創設

## 【現状・課題等】

### ■京都フードテック基本構想（令和5年3月策定）のポイント

- ▶ 基本構想の実現向け、次の3つの拠点を府内に形成するとともに、新たな付加価値を創造するためのオープンイノベーションの仕組みづくりを推進
  - ①農林水産業の研究拠点（京都府農林水産技術センターの機能強化）
  - ②機能性加工食品の開発拠点（京都プレミアム中食オープンイノベーションラボの新設）
  - ③食の最先端研究と関連製造企業の集積拠点（けいはんな学研都市）

### ■産学公連携・異業種連携による取組に対するソフト支援の必要性

- ▶ 産学公連携や異業種連携の取組が拡大する中、ソフト支援に活用しているLFP推進事業の要件が、「上限4,000千円（定額）」という状況であり、制度拡充と十分な予算確保が必要

### ■都道府県の試験研究機関に対する支援の必要性

- ▶ 都道府県単独では、最先端技術の開発・実証に必要な試験研究機関の機能強化や研究プロジェクトの推進は難しく、施設整備や機器導入、国研等による技術的・人的等のサポートなど、ハード・ソフト両面からの国の支援が必要

京都府 の担当課	農林水産部 流通・ブランド戦略課 (075-414-4968)
-------------	---------------------------------

【国の事業等】

■概算要求

〔内閣府〕

- ▶ デジタル田園都市国家構想交付金 1,200 億円  
(令和5年度予算 1,000 億円、令和4年度補正予算 800 億円)

〔農林水産省〕

- ▶ 地域食品産業連携プロジェクト（LFP）推進事業 162 百万円  
(令和5年度予算 124 百万円)

地域の多様な関係者の経営資源を結集するプラットフォームの形成、新たなビジネス創出のための試作品製造・新サービスの実証や需要開拓等の取組を支援

【京都府の取組】

■京都フードテック推進事業 (令和5年度予算 194,200 百万円)

京都の食産業の高付加価値化と競争力強化を図るため、京都ならではのフードテック技術を開発・集約し、食関連事業者に還元する仕組みを構築

▶ 京都府農林水産技術センターの機能強化

農林水産技術センターを移転・集約し、分野横断型の研究体制を構築するとともに、スマート技術や高機能性新品種などフードテックを活用した次世代型農林水産業の実現に向けた技術の研究開発・実証及び人材育成を行う拠点に機能強化

▶ 京都プレミアム中食オープンイノベーションラボ

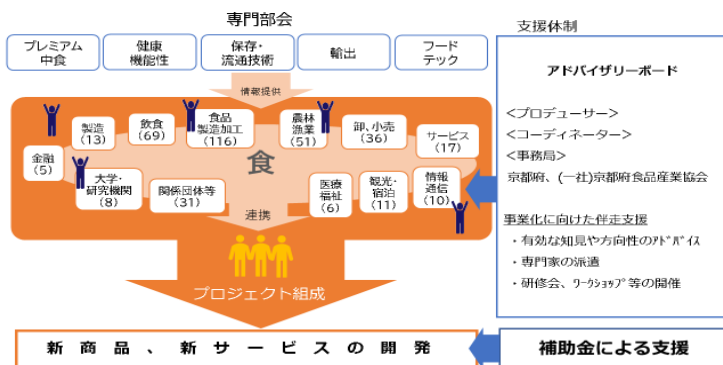
「京都食ビジネスプラットフォーム」から生まれた加工食品のアイデアや事業化に向けた取組みを元に試作品作製、機能性成分の分析、品質の評価等を行い、府内産農産物を活用した中食向け機能性食品の開発を支援する拠点を整備  
(スケジュール：R6設計、R7工事、R8供用開始)

▶ 京都フードテック研究連絡会議

「京都ならではのフードテック」に関する研究開発に取り組むための、全分野横断型の産学公連携研究プラットフォームとして、令和5年8月に設置

▶ 京都食ビジネスプラットフォーム

食に関連する多様な事業者が消費者ニーズを的確にとらえた新たな価値を創造し、その価値を組み合わせるオープンイノベーションの場として、令和3年11月に設置。令和5年8月末時点で 406 事業者が参画



京都食ビジネスプラットフォームの体制



オープンイノベーションラボ (イメージ)